

＜コンビニでの出来事＞ ～ 誰もいつかは通る道 ～

人生100年と言われる時代ですが、平均寿命は80歳代。50歳代の人のお親は80歳代が多くなってきているようです。以前勤務した学校は大規模校ということもあり、50代の職員も多く、何件か不幸がありました。80代だった私の母もその中の一人でした。

母は亡くなる約4ヶ月前から緩和ケア病棟（積極的な治療はせず、身体的、精神的な痛みを和らげることを目的とした施設）に入院することになりました。当時はコロナ禍でしたが、施設の特性上なのか、限られた身内のみ面会を許可して頂けたので、毎日、仕事が終わってから見舞いに行くことができました。私以外で不幸があった先生方は、口をそろえて「コロナのため面会できないまま亡くなってしまったのが心残りです。親も寂しかったと思います」と言われていましたので、見舞いに行けることは、私だけでなく母にとっても幸運なことでした。最後の1ヶ月は、記憶障害や意識障害も現れ、会話がかみ合わない時もあり、切ない気持ちになることもありました。

母が亡くなってから2ヶ月後、まだ平穏な心に戻り切れていない2月の寒い夜、家の近くのコンビニにふらっと買い物に出かけました。その時に80代位のおばあさんがレジの所で、手に商品を1つ持って店員さんに大声で何か訴えていました。訴えの内容は「私はお金を払ったのに、なぜ売ってくれないんだ」ということでした。しかし、店員さんはおばあさんに「まだお金を払っていらっしゃいませんよ」と話をしていました。そのやりとりは3～4往復ほど続き、店内には私を含め、6人ほどのお客さんもいましたが、2つあるレジのうちの1つはおばあさんでふさがれ、店員さんも困った様子でした。

おばあさんを見ていると、話がかみ合わないときの母と重なって見えてしまいました。私は、おばあさんとはしばらく話をすれば、落ち着いて先ほどのことは忘れてしまうかも知れないと思い、「ちょっと外でお話を聞かせていただけませんか？」と声をかけ、コンビニの駐車場でいろいろと話をすることにしました。話の中でおばあさんは昔、教師をしていたと話されたので、私も少し自分のことを話しました。しばらく話をしたので、心配されているご家族がいるかもしれないと思い、おばあさんの家族のことを聞いてみましたが、おばあさんは「あんた、私に興味でもあるかね？」と言って、逆に警戒されてしまいました。👉。それならば、自宅まで送り届けようと、それとなく自宅の場所をお聞きしましたが、自宅に関する話は話してくれませんでした。40分位話をすると、おばあさんは「わしゃ、もう帰る」と言って帰っていかれました。

私も、保護者も、みなさんも、いつかはおじいさん、おばあさんになります。ある学校で、「一人暮らしの高齢者の家を訪問する」という取組がありました。私が訪問したお宅では、ほぼ間違いなくマシンガントークとなりました。その様子を見て「やっぱり一人は寂しい。誰かと話したいんだなあ」と考えさせられた思い出です。

9月15日(月)は敬老の日。おじいさん、おばあさんが喜ぶことをしたり、別居であれば、電話をかけて声だけでも聞かせたりしてみませんか。高齢の方にとっては、皆さんは宝物。皆さんの姿を見たり、声を聞くことが、一番の元気の源なのです。



＜生徒会選挙公示＞

9月3日(水)は生徒会選挙の公示日でした。今年は9月11日(木)～9月19日(金)まで立候補受付の予定です。選挙をとおして民主的な活動を経験し、先輩方の活動を受け継ぎ、進化させる大事な取組です。自分のことよりも学校全体のことを考える志を持つ人が積極的に立候補してくれることを期待しています。



10月4日(土)に城西小学校で開催される市Pバレーボール大会に向けた練習が9月4日(木)から始まりました。城西中は2連覇しているので、3連覇が期待されます。皆様、応援よろしくお願いたします。

